

部会長：宗本順三（京都大学）

建築空間計画／設計部会の活動方針（案）

1. 部会の目的

知的生産性の基礎的研究の成果を具体的な建築空間に反映させたワークプレイス（「仕事場」）の計画方法の研究と実践的な設計に向けた設計知識の収集・空間の提案、ファシリティマネジメント方法の研究を行う。

2. 研究内容

- (1) 国内外の文献を調査し、建築空間計画が知的生産性に与える影響を整理する。
- (2) 国内外の先進事例の調査を行い、事例収集と空間を評価する手法を検討する。
- (3) 「仕事場」における人間行動・心理と知的生産性を向上させる建築空間を検討する。
- (4) 知的生産性を向上させる建築空間の各種計画技術・マネジメント技術を検討する。

3. 方法

- (1) 国内外の各種文献、論文を基に既往研究を調査し、知的生産性と空間要素、人間行動の関係を整理する。
- (2) 「仕事場」における行動活性化評価をもちいた空間性能評価手法を検討する。
- (3) 「仕事場」における人間行動と空間性能のモニタリングを検討する。
- (4) 知的生産性を向上させる建築空間の各種計画法・ファシリティマネジメント手法を検討する。

4. アウトカム

- (1) 知的生産性と空間要素、要素技術、人間行動、「仕事場」の関係のデータベースの構築
- (2) 「仕事場」の行動活性化評価をもちいた空間性能評価手法の提案
- (3) 知的生産性を向上させる建築空間の各種計画法（要素技術）・設計知識（統合化技術）の提案
- (4) 知的生産性を向上させるファシリティマネジメント手法の提案

5. 部会の委員構成

宗本 順三（京都大学大学院工学研究科教授） 部会長
部会長を中心として部会委員を構成する。

建築空間計画/設計部会の活動方針

部会長：宗本順三（京都大学）

研究のフレーム(対象・目的)

企画裁量型・高付加価値労働

ワークスタイル

個人
チームワーキング
グループワーク

ワークプレイス

ネットワーク(ヴァーチャル)

仕事場(リアル)

インフォーマルコミュニケーション
ネスティング
フェイスツウフェイス
マグネットスペース等

人間行動

部会の研究対象

支援・マネジメント

創造性・効率性・生産性等の向上

研究の方法・アウトカム

